

令和5年度 学校関係者評価書【◆委員意見】

評価項目	本年度の活動(具体的な手立て)と指標	学校自己評価(○:成果 ▲:改善点等)	学校関係者評価(委員記入欄)	今後の改善点
1 学力向上	<p>1 授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動の充実を目指し、「授業力UP5」に基づいた授業改善の実施</li> <li>・全教員の公開授業実施による授業力の向上</li> </ul> <p>→学校アンケートによる検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査及び、みえスタディ・チェックの自校採点による課題から授業改善を図る。</li> </ul> <p>→全国学力・学習状況調査及び、みえスタディ・チェックにおける前年度比向上</p>	<p>○各教員が、人の授業から学び自分の授業で実践することができた。</p> <p>▲授業力Up5を知らない教員もおり、周知の徹底が必要である。</p> <p>▲全国学力・学習状況調査結果(3年)は、全国平均に対して、国語-4.8, 数学-11.0, 英語-10.6であった。</p> <p>○1・2年生のみえスタでは、1年理科が-1.5だったが、その他の教科は概ね県平均を上回った。</p> <p>○読書推進に向けて、全クラスが図書館を利用することができた。</p> <p>▲家庭学習は、生徒個人で意識に差があったり、テスト前など一時的なものにとどまることもあった。また、読書に取り組めた生徒は約45%であった。</p> <p>○全国テストやみえスタディチェックを自校採点し、各教科での強みや弱みを検証し、全職員で共有することができた。</p>	<p>◆家庭学習等については、家庭(保護者)との連絡・連携を密にして学習意欲の向上につながるような生徒との関りを可能な限り対応できると良い。</p> <p>◆家庭学習を定着させることは難しいので、少し宿題を出してください。</p> <p>◆ICTを活用する授業やSNSトラブルなどの話を聞くと、読み書きの基本がとても大切だと感じます。新しい図書室を多くの生徒さんが活用されることを望みます。</p> <p>◆日々の生活も学習も自分以外の姿を見て勉強になることが多々あると思うので、公開授業は大変だと思いますがとても良いと思います。</p> <p>◆「授業力UP5」という言葉を知らず、何のことかなと思っていましたが、先生方の中にも御存知ない方がいて驚きです。どうぞ引き続き周知の徹底を。</p> <p>◆新校舎図書館についてこれからは楽しみです。いろいろな面で期待できます。図書館の日曜開放のボランティアに参加して、生徒さんの学習する姿に感心しました。</p> <p>◆先日の公開授業では、どの学年もしっかりと勉強している様子を見せていただいた。全国学力学習状況調査は、全国平均よりマイナスであったようですが、今回は平均を上回った結果が出ることを期待しています。</p> <p>◆学習内容がわからない→やる気が出ない→諦める→悪循環にならないように子どもたちには目標を持って学んでもらいたいと思います。</p> <p>◆子どもたちには自分の興味のあること、関心のあることをたくさん見つけてほしいです。</p> <p>◆「学校アンケート」より・・・生徒は家庭学習や読書をしていると思っていても、保護者の方はもっと学習してほしいと感じているようです。</p> <p>◆「学校に来るのが楽しい」や「授業がわかりやすい」と感じている生徒が多いので、学習意欲はあるのかと考えます。</p> <p>◆人の授業から良いところを取り入れ、授業でじっせんできたのは良いと思いました。</p> <p>◆全国学力学習結果で全国平均を下回ったのは良くなかった。</p> <p>◆「授業力UP5」を知らない教員がいるのが残念でした。</p> <p>◆教員の方は、生徒に勉強を教え、なおかつ、自分も勉強をするというすごく大変なことだと思います。先生の勉強時間も1単位としてカウントできれば、より生徒にも伝えていってもらうのが早くなると思われれます。残業せずにできる方法を望みます。</p>	<p>◆個別最適の学びを実施できれば変化もあるかと考えます。</p> <p>◆「授業力UP5」をもっと周知徹底できると良い。</p> <p>○「授業力UP5」を職員室に掲示し、授業改善等にかかる情報発信掲示板を設置する。</p> <p>○研究発表だけでなく、すべての教科授業で「めあて」を提示する。いつでも生徒が確認できるようにする。</p> <p>○読書強化取組は、自己目標を設定して取り組む。</p> <p>○小中学校の研修担当者会を定期的に行い、小中連携した授業改善を行う。</p> <p>○「授業力P5」をすべての教員が携帯し、常に確認しながら授業改善を行う。</p>